

クローザ類 ②ヒンジクローザ

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章8節に規定する建具用金物のうちのヒンジクローザとする。

2. 品質・性能等

- （1）品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- （2）主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- （3）性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 名簿の「詳細事項」に関する注意事項

- （1）材料の閉じ力による区分、取り付け方法及びストップ装置の有無による区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- （2）「取り付け方法及びストップ装置の有無による区分」は、該当する製品名を示してしている。

評価内容（別紙）

クローザ類 ②ヒンジクローザ

項 目				品 質 ・ 性 能			備 考
材 料	見え掛り 部の材質	丁 番 形		鋼製（焼付け塗装）			
		ピボット形	カバー部	ステンレス製			
			本 体	鋼製			
性 能	初期値	閉じ力および効率による区分		番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
				1	5 以上	30 以上	
				2	10 以上		
				3	15 以上	35 以上	
				4	25 以上	40 以上	
				5	35 以上	45 以上	
				6	45 以上		
	閉 じ 速 度 (秒)	常温 (5～35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5～8 秒に調整できること。					
温 度 依 存 性 (緩衝油の流動点) (℃)		－15 以下					
ス ト ッ プ 力 (N・m)		入 力：100 以下 解除力： 3 以上					
耐 久 性	繰返し開閉後の 閉じモーメント (N・m)		耐久試験後も、初期値の性能を満足すること。				
	繰返し開閉後の 効 率 (%)		同 上				
	繰返し開閉後の 閉 じ 速 度 (秒)		同 上				
外 観 お よ び 機 能	製 品 お よ び 付 属 品 の 形 状		全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。				
	機 能		ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。				
	ス ト ッ プ 装 置 の 機 能		ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。				
	取 付 け 部 品		必要な取付け部品が付属していること。				
試 験 方 法	1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3 の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。 2. 閉じ速度試験およびストップ力試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269 による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、10 万回とする。 5. 試験体は、申請品のうちから、1. 丁番型、2. 持出し吊り込み型、3. 中心吊り込み型の優先順位を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。 6. 試験ドアの質量は、1 番手は 25kg、2 番手は 40kg、3 番手は 60kg、4 番手は 80kg、5 番手は 100kg、6 番手は 120kg とする。						